Creative Enzymes®

マウス由来カルボキシルエステラーゼ1D、組換え

Cat. No. NATE-1633

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	Ces1d、別名カルボキシルエステラーゼ1Dは、エステルおよびアミド結合の加水分解を担当する大規模なカルボキシルエステラーゼファミリーの一員です。これは、白色脂肪組織の脂肪ケーキ抽出物の主要なリパーゼです。部分的に精製された白色脂肪組織のCes1dは、リパーゼ活性と、より少ないが□出可能な中性コレステリルエステル加水分解活性を示しました。このタンパク質は、癌治療に使用されるカンプトテシンの前□体であるCPT-11の加水分解に□して低い触媒効率を示します。C末端にHisタグを融合させた組換えマウスCes1dは、昆虫細胞で発現され、従来のクロマトグラフィー技術を使用して精製されました。
別名	Ces1d; カルボキシルエステラーゼ 3; FAEE シンターゼ; TGH; Ces3

製品情報

種	マウス
由来	昆虫細胞（バキュロウイルス）で、N末端にHisタグが融合されています。
形態	液体
製剤化	50 mM Tris、100 mM NaCl、pH 8.0からの無菌フィルター処理された凍結乾燥粉末。
分子量	60.9 kDa
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	> 80,000 pmol/min/μg
濃度	0.5 mg/ml
エンドトキシンレベル	< 1 EU/μg
単位定義	pH 7.5、37°Cで1分間に1pmoleのp-ニトロフェニルアセテートをp-ニトロフェノールに加水分解する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	短期間（1-2週間）の保管は+4°Cで行ってください。長期保管の場合は、分注して-70°Cで保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。